

公演関連レクチャー『リチャード三世』

# シルヴィウ・プルカレーテの演劇

～言葉を越えて、イメージを越えて～

10月18日よりプレイハウスにて開幕する『リチャード三世』の演出を手がけるシルヴィウ・プルカレーテ。戯曲を演出することに新たな可能性を見出した彼の作品は世界中の劇場やフェスティバルで上演され、多くの観客を魅了しています。

本レクチャーでは、母国ルーマニアより演劇研究者を招き、これまでに彼が演出したシェイクスピア作品のほか、代表作『ファウスト』などの映像資料も交えながら、ルーマニア演劇の魅力、プルカレーテの演劇世界について話を伺います（日本語通訳あり）。

講師：オクタヴィアン・サイウ（ルーマニア国立演劇映画大学 准教授）

聞き手：穴澤万里子（日本大学芸術学部演劇学科 教授）

日時：2017年10月15日（日） 19:00 - 21:00

会場：東京芸術劇場 シンフォニースペース（5階）

料金：500円（『リチャード三世』のチケットをお持ちの方は無料。チケット要持参）

\* 定員50名、要事前申込、先着順。

\* 手話通訳やUDトークによる文字支援をご希望の方は、開催の10日前までに、その旨を明記の上、お申込みください。

## 【講師プロフィール】 オクタヴィアン・サイウ Octavian Saiu

演劇研究者・演劇批評家。ルーマニア国立演劇映画大学において劇場空間についての研究、ニュージーランドのオタゴ大学（比較文学）でサミュエル・ベケットとユージェヌ・イヨネスコについての研究を行い、ともに博士号を取得。現在、ルーマニア国立演劇映画大学で教鞭をとりながら、シビウ国際演劇祭で毎年開催される国際会議の議長も務めている。これまでに9冊の演劇関連の書籍を出版し、国内外の雑誌への寄稿も多数。国際演劇評論家協会（AICT）副会長およびルーマニア支部会長。



## 【聞き手プロフィール】 穴澤 万里子



日本大学芸術学部演劇学科教授。AICT（ユネスコ傘下国際演劇評論家協会）本部理事、同協会日本センター事務局長。専門はベルギーのノーベル賞受賞作家で、20世紀初頭のフランスの象徴主義演劇の中心人物、モーリス・メーテルリンク。パリ第3大学演劇学科卒業。同大学院博士課程満期退学。ストラスブルグ大学院比較文学博士。メーテルリンク以外では同年代の演劇と美術の関係をライフワークとして研究している。「ユビュ王」、『演劇学の教科書』（共訳）など翻訳も行う。

## 【お申込方法】

以下をご記名の上、seminar@geigeki.jp までメールにてお申込みください。

件名に「10/15 演劇レクチャー参加」とご記入ください。

- ①お名前（ふりがな）
- ②ご所属（もしあれば）
- ③公演チケットの有無
- ④返信用メールアドレス
- ⑤当日連絡用の電話番号

\* こちらの返信をもってご予約完了となります。

\* お申込時にいただく個人情報は、本講座以外の目的には使用しません。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 03(5391)2116